

特集

小児マヒとの闘い

衛生部長にこのことが聞きたい



暑さとともに小児マヒの発生数は依然
上昇を続け、七月下旬にはすでに二百六
十名を突破し、今後も楽観を許さない。
そこで、子供をもつ母親にご登場願つ
て、県衛生部長にきいてもらつた小児マ
ヒに関する疑問の数かず……

きく人 / 山本しげ子さん
(熊本市附属幼稚園母の会々員)

答える人 / 浜崎直哉氏
(熊本県衛生部長)

写真・小児マヒで呼吸困難におちいつた子供を
救う鉄の肺…… 国立熊本病院にて

発生率は昨年の十倍以上

山本さん 毎日暑い日が続いていま
すが、例年七、八月が小児マヒの最
盛期と聞いていますね。私たち母親は
もう心配で心配で……

浜崎部長 ほんとうにご心配でによ
うね。いまの状況では、昨年の十倍
以上発生しており、相変らず熊本県
が全国一です。

しかしもうすでに、福岡県をはじめ
全国的に発生数が増えている状態
で、この夏は大変ですよ。

——何才位が多いんでしょうか。
部長 四才から六才位が一番多いよ
うですね。熊本県では六才までが患
者の八割程度も占めていますので、
ソーク・ワクチンの接種も、六才ま
でのお子さんにやっていたら、よくよ
うに呼びかけてきたわけです。

生ワクとソーク・ワク

——いま、生ワクチンを全県下で飲
ませておられますが、これまでにソ
ーク・ワクチンを二回すました子供
は、生ワクチンをかさねて飲んで
いいんですか。

部長 ええ、もちろんです。むしろ
かさねて飲んだ方が安心ですよ。そ
の場合、ソーク・ワクチンの第三回
目もやはり接種した方が、より安心
ですね。

——その三回目ですが、これを早く
接種してはもらえないのですか。親
の気持としては、一日でも早く接種
させたいのですが……

部長 三回目は二回目の七カ月後と
いうことになってい
ましたが、今度特別
に二カ月後でもよい
ことになりました。
しかし、二回目でも
約八割程度免疫の
効力が出ています。

一〇〇%の免疫効果を出すためには
理想としてはやはり七カ月の期間を
おいた方が好ましいわけです。

スにはI型、II型、III型という三つ
の型があつて、いま熊本で流行して
いるのはI型なんです。
生ワクチンもそれぞれの型に対し
てつくつてありますので、今度の場
合はI型の生ワクチ
ンを一回飲めばいい
わけです。

生ワクチンも心配ない



対談する浜崎衛生部長と山本しげ子さん

——それもそうでしょうが、いまの
状況ではそんなに待てませんもの
ね。やはりその前に生ワクチンをせ
て飲ませたいのですが、一回飲めば
いいのでしょうか。

熊大でもこれまでに実際飲ませて
調査されましたが、心配する点もな
いのでしようか。

検査の結果
は、検査は
ついでに
ついでに
とママの
液を待つ
ずい、明
せれば、
すが、果
……国立熊本病院にて